前進
週刊
発行所 前進社
編輯・発行人 田上 伸
本社 豊島区 椎名町 2-62-4 電話 (03)954-5651(代) 振替 東京 88867
中部支社 大阪市 北区 中崎町 1-61 電話 (06)371-7558 振替 大阪 16016
中国支社 広島市 大手町 5-12 電話 (0822)41-4678 振替 広島 3027
九州支社 福岡市 福岡 5-26 電話 (092)283-0464 振替 福岡 18669
1部 50円 月ぎめ 250円(〒共)
郵送読者の購読料 1部平年1600円・1年3000円 2部平年3200円・1年6000円 3部以上は送料当方負担

12・6全国から三里塚へ結集せよ

特別措置法—強権発動粉砕へ

6日 総決起集会、7日 現地交流集会

反帝国主義・反スターリン主義の旗のもと
万国の労働者団結せよ!
革命的共産主義者同盟
全国委員会

三里塚空港粉砕闘争 総決起集会
12月6日午後、三里塚第二公園
主催 三里塚芝山連合空港反対同盟

現地交流集会
12月7日早朝より、三里塚
主催 三里塚芝山連合空港反対同盟

政府は今月の十月初旬にも、三度目、そして「公共用地取得に関する特別措置法」の適用を狙っている。特別法の適用は、一切の「居住」手段を奪ってすべて国家が強権発動によって、土地を強奪するものであり、警察権はもとより、ブルドーザー等を使って、三里塚三期決定を圧しつぶそうとする狙いの表れである。十二月六日の全国集会を結集して、これを粉砕しなければならない。

十二月六日の三里塚全国集会(公開)の開催によって国家権力、当の反対のための反対に「公共の福祉」の問題、政府・当局は、三里塚闘争の全国的な高揚に対する強権的弾圧を強行しようとしている。特別法の適用は、一切の「居住」手段を奪ってすべて国家が強権発動によって、土地を強奪しようとするものである。三里塚闘争の無視は、反対同盟を孤立させ、現機発動粉砕の鍵を握る

巫召鴻君に126を

在日中国青年 同化政策を拒否

歴史の抹殺を許すな

全力で支援闘争を

法律二三号（註1）廃止運動もあるなら、不当にも昨年十二月六日（註2）ごろから特別留学生の新たな在留資格（ワーク・ビザ）が、法務省・入管局から出されたが、法律二三号適用を要求し闘っている。これに対し同じ日、東京地裁に「同化政策」に抗議し、要求撤回を求める目的で、法律二三号の適用は否認されたまゆ。目的は、「同化政策」の撤廃にあるのであり、法律二三号外国人令をゆる機会を通じ、減少させ、最終的には法律二三号のもとなしとしまうことにあるからだ。第四は、日常の「同化政策」を通じ、法律二三号適用を前面に、強いられるなら、われわれは、「同化政策」に対抗し、その推進者たちと闘争を展開せざるを得ない。

一二六号該当は明らか

第一は、五二年三月末、台湾出身の中国人学生、陳鳳鳴君が、「留学」から「定住者」に変更を申請し、四月一五日、「留学」の在留期間が切れ、東京で生れた。彼の父親は、四〇年に日本へ渡来し、「定住者」の資格を取得しているが、母親は、「留学」の資格で、日本に渡り、日本人と結婚し、四〇年に日本へ渡来し、「定住者」の資格を取得している。

第二は、陳君は、三月一五日、十八歳になり、「定住者」の在留期間が切れた。本年十月一日、十八歳になり、「定住者」の在留期間が切れる。

第三は、陳君は、「定住者」の資格を取得しているが、「定住者」の資格は、法律二三号適用者であり

「沖縄返還協定」四月調印阻止へ

国政参加選挙の終了と同時に、政府自民党は「沖縄返還協定」の締結向って本格的に動きだした。背にとっては、選挙終了によって「国民の声」に安心が本格化なったと、後は超勤的な「返還協定」を、われわれの国民の意思を無視して強行しようとの意図が明白である。日共議員の「国会」での追及に、最近の日米軍事同盟の強化・インドシナ侵略の背景化が加重されたが、「七二年沖縄返還協定」は、この内容としても、「返還」とは名ばかりの、実質的には、「沖縄の軍事基地化」の固定化であり、「核抜き」の問題も、「本土並み」の問題も、「基地の自由使用」の問題も、「日米安保条約の無期限適用」の問題も、「サンフランシスコ体制」の問題も、「沖縄の自衛隊の配備」の問題も、「日米軍事同盟の強化」の問題も、「日本の軍国主義化」の問題も、「日本の核武装」の問題も、「アジア侵略」の問題も、「日本帝国主義の復活」の問題も、「日本ファシズム」の問題も、「日本人民の生活」の問題も、「日本人民の生命」の問題も、「日本人民の自由」の問題も、「日本人民の平和」の問題も、「日本人民の民主主義」の問題も、「日本人民の人権」の問題も、「日本人民の民族的独立」の問題も、「日本人民の民族的自尊」の問題も、「日本人民の民族的誇り」の問題も、「日本人民の民族的生存」の問題も、「日本人民の民族的未来」の問題も、「日本人民の民族的運命」の問題も、「日本人民の民族的歴史」の問題も、「日本人民の民族的文化」の問題も、「日本人民の民族的言語」の問題も、「日本人民の民族的伝統」の問題も、「日本人民の民族的習慣」の問題も、「日本人民の民族的道徳」の問題も、「日本人民の民族的宗教」の問題も、「日本人民の民族的哲学」の問題も、「日本人民の民族的思想」の問題も、「日本人民の民族的感情」の問題も、「日本人民の民族的意識」の問題も、「日本人民の民族的良心」の問題も、「日本人民の民族的理性」の問題も、「日本人民の民族的本能」の問題も、「日本人民の民族的欲望」の問題も、「日本人民の民族的性格」の問題も、「日本人民の民族的特徴」の問題も、「日本人民の民族的伝統」の問題も、「日本人民の民族的慣習

入管・沖縄闘争、本格的段階へ

七一年前半の激戦開始

「返還協定」四月調印阻止・入管法再上程阻止

山本全国全共闘議長が挨拶

22日東京

会国労働者、学生、市民、高校生ら万余が東京・明治公園に結集して開いた「七一年前半の激戦開始」集会。十二月臨時国会、一月通常国会、二月、三月、四月と、七一年前半、沖縄返還協定調印阻止、入管法再上程阻止の闘いを全国的に展開する決意を固めあった。(写真は三二三頁参照)

二年二月、東京明治公園、全国から結集した万余名の労働者、学生、市民、高校生らで満ぱいだった。沖縄返還、入管法再上程阻止、ベトナム侵略戦争反対、大学の不当な弾圧に抗する闘いを、全国的に展開することを誓い合った。

この日、「七二年前半の激戦開始」集会は、「七二年に闘争の主導権を」「七一年前半、沖縄返還協定調印阻止、入管法再上程阻止」の闘いを全国的に展開することを誓い合った。

二年二月、東京明治公園、全国から結集した万余名の労働者、学生、市民、高校生らで満ぱいだった。沖縄返還、入管法再上程阻止、ベトナム侵略戦争反対、大学の不当な弾圧に抗する闘いを、全国的に展開することを誓い合った。

この日、「七二年前半、沖縄返還協定調印阻止、入管法再上程阻止」の闘いを全国的に展開することを誓い合った。

八月末開催の「七二年に闘争の主導権を」集会、十一月臨時国会、一月通常国会、二月、三月、四月と、七一年前半、沖縄返還協定調印阻止、入管法再上程阻止の闘いを全国的に展開することを誓い合った。

この日、「七二年前半の激戦開始」集会は、「七二年に闘争の主導権を」「七一年前半、沖縄返還協定調印阻止、入管法再上程阻止」の闘いを全国的に展開することを誓い合った。

二年二月、東京明治公園、全国から結集した万余名の労働者、学生、市民、高校生ら万余が東京・明治公園に結集して開いた「七二年前半、沖縄返還協定調印阻止、入管法再上程阻止」集会。(写真は三二三頁参照)

全学連29回大会の成功のために（1）

はじめに

日韓のアジア侵略の実体、アジア人民の再検討を通じ、この運動を出発点として、アジア侵略の実体を暴露し、日韓の人民の生活の分析を通じ、アジア侵略の本質を明らかにする。

当面する第29回全学連大会の性格について、アジア侵略の実体、アジア人民の再検討を通じ、この運動を出発点として、日韓の人民の生活の分析を通じ、アジア侵略の本質を明らかにする。

当面する第29回全学連大会の性格について、アジア侵略の実体、アジア人民の再検討を通じ、この運動を出発点として、日韓の人民の生活の分析を通じ、アジア侵略の本質を明らかにする。

当面する第29回全学連大会の性格について、アジア侵略の実体、アジア人民の再検討を通じ、この運動を出発点として、日韓の人民の生活の分析を通じ、アジア侵略の本質を明らかにする。

法政大全共闘一千が決起

ロックアウト体制粉砕 検問を実力で突破 侵略体制に屈服する大学との対決へ

マルクス主義学生同盟中核派・法大支部

検問を突破、白ヘル先頭に闘う

十二月七日、法政大学当局は、「解除」後最初の十二月二十四日、法政大学当局は、「解除」後最初の十二月七日をおさえロックアウトを強行。しかし長期ロックアウトによる学生の動揺の全面的拡大を恐れ、法大当局は再び「解除」を強行。この時には、共産党系の御用ヘルメット集団を動員して、学生の強行突破を阻止しようとしたのだが、数の力で圧倒的に優勢な法政大学の学生は、ヘルメット集団を蹴散らし、正門を突破、法大当局の目論見を完全に粉砕した。

二十四日、早朝から中核派、革マル派の両ヘルメット集団が、法大当局の目論見を完全に粉砕すべく、法大当局の目論見は、「解除」を強行、ロックアウトによる学生の動揺を抑え